

東海第二原発が 危険

運転再開を許さず、廃炉に

マグニチュード8クラスの巨大余震

・津波で全電源喪失の大事故に

避難地域の20km圏内には県庁所在地の水戸市のほぼ3分の2が含まれている

2004年のスマトラ沖地震では3年後に、マグニチュード8.4の余震が起こった。

すでに運転開始後33年、老朽化の症状も顕著

3. 11大津波では、あと70センチ高ければ、海水は防波壁

**を乗り越えすべてのポンプが水につか
ったとみられ、「(冷却機能が全て失われた)福島第一の事態になった可能性は否
定できない」(日本原電)という状況で
した。**



茨城県平和委員会

・土浦平和の会